

楽しく美しい
まちづくり通信 84

訪ねてみたい宝の情景

～6月～

春先に芽を出した若葉は日ごとに色濃くなり、里山の趣を今に伝える二戸市も、静から動への季節のダイナミックな移り変わりとともに、人も生き物も活況を呈します。

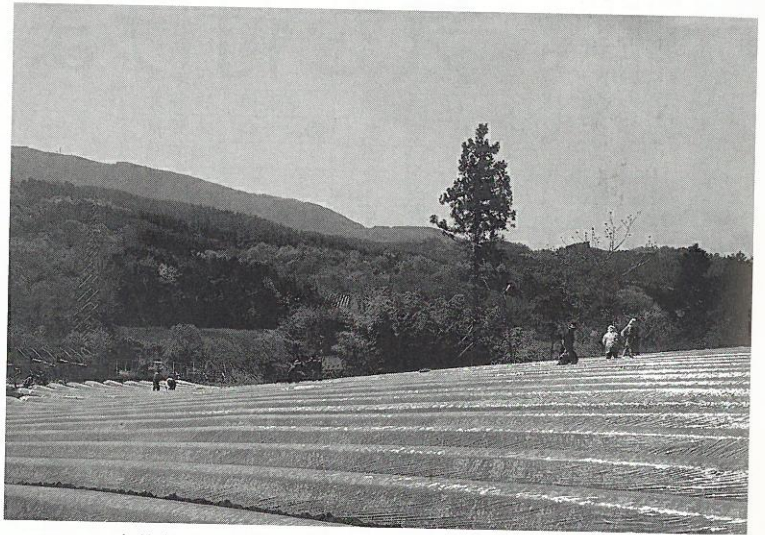
市内を回ってみると、ゴールデンウィークに家族総出で植えられたタバコ畑の苗も大きく育ち、風に揺れる緑が風景に彩りを添えています。

六月の風景は、早春とはまた違う風情があり、季節が次第に初夏に向かっていくのを感じます。

田園風景

御返地の安比橋からは、高台に赤い屋根の庵寺が見えます。「如意輪観音」を祭る円通庵、通称「アンコ寺」です。

御返地小学校発祥の地であるこの場所は、眼下に田んぼが広がり、どこことなく牧歌的な雰囲気



家族総出の苗植え作業 (仁左平篠倉のタバコ畑)

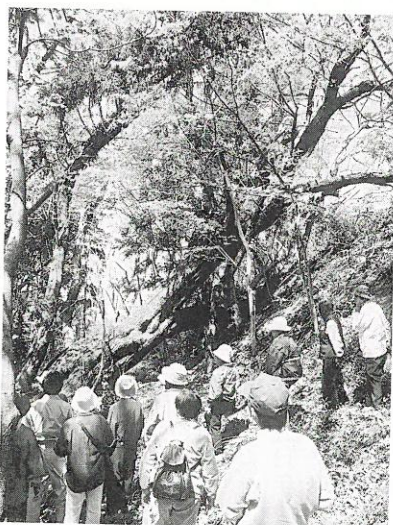
気を醸し出し、見る者に安らぎを与えてくれます。

緑色の中に点在する家々の赤い屋根がかわいらしく、思わずカメラのシャッターを切りました。絵心がないことが大変残念に思われました。

ずっと残しておきたいふるさとの風景の一つです。

市街地を眺望

糠部三十三観音三十番札所として参拝者の多い「朝日観音」



エドヒガンの巨木を見学する参加者

市の宝を再発見

春の宝めぐりツアー

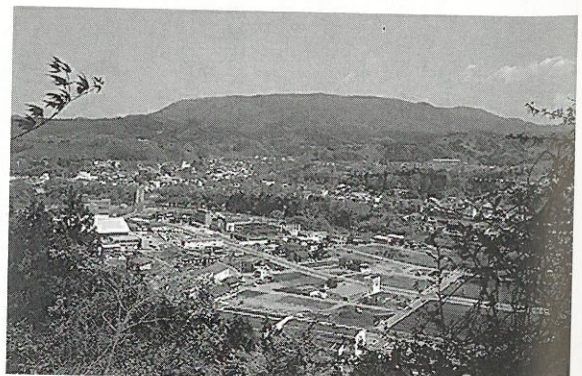
二戸市の宝にふれようと、春の宝めぐりツアー(市主催)が四月二十九日に行われ、市内から二十五人が参加しました。

ツアーは市内五カ所のエドヒガンを見るコース。市天然記念物に指定されている福岡の愛宕神社や下斗米の聖福院などを回りました。

参加した小松花江さん、大澤ジュン子さん、岩崎カツさんの

グループは「巨木のエドヒガンもあり驚きました。二戸市にいなながら知らないものがたくさんあります。今日は楽しかったです」と話していました。

は、その名が示す通り、折爪岳から昇る朝日が煌々と当たり、街が明けていく様子を見ることができるとお薦めの場所です。
ここからは近代的な建造物が立ち並ぶ二戸市シビックセンターの周辺から市街地まで遠望できます。
イチヨウ並木、サクラ、サツキ、フジなど季節の花、その中を蛇行して流れる馬淵川など、二戸の豊かな自然を実感できます。



朝日観音から望む市内